**第14回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」**

**の開催について（お知らせ）**

**━ 第63回生活と環境全国大会共催行事 ━**

☆主　　　催：　一般社団法人　廃棄物処理施設技術管理協会

☆共　　　催：　一般財団法人　日本環境衛生センター

☆会　　　期：　平成31年10月28日～30日の第63回「生活と環境全国大会」の開催期間中、

**10月30日（水）**

☆会　　　場：　熊本城ホール（熊本県熊本市）

☆発 表 内容： 廃棄物処理施設の運営、維持管理ほか廃棄物処理に関するもの

（基調講演の他、産業廃棄物・ごみ処理・し尿汚泥再生処理、最終処分場、破砕リサイクル関係の講演を予定）

☆講演発表者：　応募資格は会員、非会員を問いません。

募　集　中　　詳細な募集要領は次頁をご参照ください。

☆申 込 方 法：　FAXまたはE-mailでお願いします。

☆申 込 期 限： １）講演発表者申込　平成31年7月1日（月）

２）参加者事前申込　平成31年7月上旬～9月下旬

３）参加者当日申込　当日会場で受け付けます。

２) ３)の詳細は、7月以降に会誌およびホームページ上で通知いたします。

☆参　加　費：　・会員および講演発表者は不要（資料代込み）

・非会員の方で資料「生活と環境全国大会抄録集」の配布を希望される場合は、実費負担3,000円（予定）

☆申込・お問合せ先：

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会　事務局

〒210-0828　川崎市川崎区四谷上町10－６

（一般財団法人日本環境衛生センター内）

TEL : 044-288-2456　Fax : 044-270-5566

E-mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp

ホームページ：http://jaem.or.jp/

第14回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」

講演発表者募集要領（ご案内）

　廃棄物処理施設の技術者には、多職種長期習熟型の技術者として、長期間、学際的な知識の習得や経験を経てベテランのプラントエンジニアーとして成長することが求められています。

　研究発表会では、廃棄物処理施設の維持管理事例の発表により、参加者相互が情報を共有し、安全で安定的かつ効率的に維持管理する技術の向上を図ることを目的としております。本年は、下記要領で講演発表者を募集いたしますので、積極的に発表くださるようお願いいたします。

☆応募資格： 会員、非会員を問いません。

☆参 加 費： 不要

☆講演内容： 廃棄物処理施設の運営、維持管理ほか廃棄物処理に関するもの

☆発表形式： 口頭発表で行い、原則としてPCプロジェクターを使用します。

15分（発表12分、質疑応答3分。但し、発表演題数により若干変更する場合があります。）

☆募集演題：○産業廃棄物関係

○ごみ処理関係

○し尿・汚泥再生処理関係

○最終処分場関係

☆申込方法： 次頁 別紙１ の「講演発表申込書」によりお申込みください。

☆申込期限： 平成31年７月１日（月）

☆講演要旨：当日配布資料「生活と環境全国大会　抄録集」に掲載する原稿です。

作成方法は、別紙２ をご参照ください。原則としてPDFおよびWORDファイルで当会の事務局 gikankyo-info01@jaem.or.jp あてにメールで送信して下さい。

提出締切は８月下旬です。

☆講演資料：当日の講演に PowerPointを使用される方は、講演日の10日前までに事務局

あてご提出ください。詳細は【講演要領等】のページをご確認ください。

☆申込・お問合せ先：

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会　事務局

〒210-0828　川崎市川崎区四谷上町10－６

（一般財団法人日本環境衛生センター内）

TEL : 044－288－2456　Fax : 044－270－5566

E-mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp

ホームページ：http://jaem.or.jp/

別添 １

**第14回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」**

**講演発表申込書**

本申込書は、**７月1日（月）までに**Email：**gikankyo-info01@jaem.or.jp** まで

お送りください。

**１．講演発表者の情報（一般参加の案内、資料集に掲載します）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １）講演発表者氏名 |  | ヨミガナ |  |
| ２）勤務先（所属） |  | 役　職 |  |
| ３）予定演題名 |  |
| ４）講演の概要（ねらい）200 字以内 |
| （ここでおまとめいただく講演概要は、一般参加者のご案内等に使用させていただきます。） |
|  |

**２．本件の連絡先**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １）連絡担当者氏名 |  |  |  |
| ２）勤務先（所属） |  | 役　職 |  |
| ３）所在地（住所） | 〒 |
| ４）電　話 |  | ＦＡＸ |  |
| ５）E-MAIL |  |

別添 ２

**「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」講演要旨作成要領等**

講演発表者のお申込みが終わりましたら、講演要旨を以下の要領でおまとめください。

この要旨は、当日配布資料「生活と環境全国大会　抄録集」中に掲載する原稿となります。

**【講演要旨作成要領】**

１） ワープロソフトを用いて、以下のとおり次頁の【講演要旨執筆例】を参考に作成ください。出来上がり２ページ（図表込み、約３０００字）

２） ページ設定：用紙Ａ４縦判

３） 余白：上２８．８mm、下３４．６mm、右２４mm、左２４mmに設定してください。

４） 使用フォント等：

タイトル ： ＭＳゴシック、１６ポイント （表記：左右中央）

所属・講演者名 ： ＭＳゴシック、１２ポイント （表記：右寄せ）

本　文 ： ＭＳ明朝、１０．５ポイント

章 ： ＭＳゴシック、１０．５ポイント（表記：１．）

節 ： ＭＳゴシック、１０．５ポイント（表記：１．２）

項 ： ＭＳゴシック、１０．５ポイント（表記：１．２．１）

図表番号 ： ＭＳゴシック、９ポイント （表記：表１－１）

５）図、表、写真の表示位置

　　　　　　　　 表１－１

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　表 |  | 　　　図 |  | 　　　写真 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　図２－１　　　　　　　　　写真３－１

６） 記入事項：次頁の【講演要旨執筆例】を参考とし目的、方法、結果、考察等を記載して下さい。

７） **提出方法：８月下旬締切** 当協会事務局メールアドレス gikankyo-info01@jaem.or.jp

あてにご提出ください。郵送の場合は、ＣＤ－Ｒ等の媒体でお送りください。

８） その他の注意：ご提出いただく講演要旨は、白黒版で印刷します。原稿中カラーを使用されている場合は文字・画像の網掛け等がつぶれる恐れがありますので、予め白黒コピーなどでご確認するなどご注意ください。

原則として、ご提出いただいた本文そのままを印刷する方式としますが、ページレイアウトの都合上、行間、ノンブル振り等の調整をさせていただく場合がございますため、**ＰＤＦのほかＷｏｒｄ原稿をご提供ください。**

その他ご不明の点は協会事務局まで御連絡ください。

**【講演要旨執筆例】**

**廃棄物処理事業に伴う事故事例調査結果について**

○泊瀬川　孚１）、若倉　正英2) 、杉山　吉男3)、三橋　孝太3)

1) 日本環境衛生センター、2) 神奈川県、3)横浜市

**１．はじめに**

廃棄物処理施設の事故は他の産業に比べて多く発生しており、度数率（百万延べ作業時間に対する死傷者数）において、全産業に比較して７～10倍高いといわれている。

日本廃棄物処理施設技術管理者協議会安全委員会では、今回で３回目となる廃棄物処理施設で発生した事故について調査を実施し、事故原因の解析や対策などを検討してきた。第１回の調査は、平成４年度から７年度の４年間、第２回の調査は、平成８年度から平成11年度までの４年間を対象とした。

本報告は、平成12年度から15年度までの４年間に発生した事故について、紙面によるアンケート方式により調査した結果を報告する。

**２．調査方法**

調査は、環境省の協力を得て協議会が実施した。

アンケート調査項目は、施設の概要、事故概要、事故原因、事後措置等に関するものとし、調査票の形式は一般廃棄物と産業廃棄物の２種類の調査票とした。これらの調査票を、一般廃棄物処理施設については、平成13年度版の「廃棄物年鑑」に登載されている各施設および施設を統括する市町村の担当課に、また、産業廃棄物処理施設については、「産廃情報ネット」に登載されている企業の本社宛に送付した。回答を得た施設については、処理施設の種類ごとに事故要因別（施設構造、運転管理、保守管理、その他）に事故原因と事故後とられた応急措置、恒久措置について整理し、さらに事故発生率等について解析するとともに事故防止対策を取りまとめた。

**３．調査結果**

平成12年度の環境省が公表している一般廃棄物処理施設設置数6,520施設に対して、2,590施設から回答があり、その回収率は39.7％であった。このうち、事故が発生した施設は延べで637施設であった。産業廃棄物処理施設については、環境省から許可件数が公表されているが、許可件数は品目ごとの許可件数であり、施設によっては数種の品目について許可を取得しており、実際の施設数とは一致しない。このため送付部数3,487に対する回答数として1,910の回答を得た。このうち、事故が発生した施設は延べで54であった。

**３．１　一般廃棄物処理施設**

**３．１．１　平成12年度の事故**

　一般廃棄物処理施設は、し尿処理施設、資源化施設、粗大ごみ処理施設、焼却施設および最終処分場に分類したが、これらを一括して表１に示す事故が発生した。

爆発、火災は粗大ごみ処理施設での発生が圧倒的であり、34件のうち27件と80％が粗大ごみ処理施設で発生した。

原因は不明もあるが破砕の衝撃によりガスボンベなどの可燃性ガスやガソリンのような可燃性液体が混入していて爆発・火災を発生させたものと思われる。

人身事故は焼却施設が多く、109件中84件と77％が焼却施設で発生している。また、焼却施設では死亡事故も３件発生し３名が被災している。

（注：以下、省略してあります。）

|  |
| --- |
|  |

**【講演要領等】**

１）発表方式：

　講演に際しては、講演要旨とは別にPowerPointを使用する例が多く、効果的であるといわれます。本講演に際してもこのPowerPointによる液晶プロジェクターの使用をお薦めします。

２）講演時間：講演される方の数により多少異なりますが、講演12分、質疑応答3分の計15分を予定してください。ただし、個人的要因によってこの12分を超過した場合は、途中であっても講演を中止いただくことがありますので、ご注意ください。なお、当日は、ご自分の講演時間の始まる30分前までに、受付を完了してください。

３）PowerPoint原稿の事前提出：

・ 当日の講演に PowerPointを使用される方は、講演日の10日前までにメールまたは容量（枚数）の多いものは郵送等でお送りください。

・ 原稿はMicrosoft PowerPoint® で作成して下さい。マッキントッシュで作成されたファイルは使用できません。送付前に動作確認を行ってください。

・ 液晶プロジェクターに接続するPCのオペレーティングシステムはMicrosoftWindows® 7、 使用ソフトはPowerPoint®です。音声、動画をつけたファイルは使用できません。

・ 予めお送りいただいた原稿を収めたノートパソコンは演台に設置しておきます。この操作は講演者で行っていただきます。緊急的な処置を除いて、個人のパソコンの持ち込みは、プログラム進行の支障になる可能性があるため、お受けできません。

☆講演内容のご紹介のご承認について

　当会では、例年、本発表会の報告を当会のＨＰやメールマガジンで行っております。

　つきましては、講演いただいた講演要旨並びに当日使用いただいたPowerPoint原稿をこの報告に使用させていただくことをご了承ください。

　また、この掲載について支障がある場合は、お申し出ください。

☆お問合せ先：　一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会　事務局

〒210-0828　川崎市川崎区四谷上町10－６

（一般財団法人日本環境衛生センター内）

TEL : 044－288－2456　Fax : 044－270－5566

E-mail : gikankyo-info01@jaem.or.jp

ホームページ：http://jaem.or.jp/